2024 年 10 月 21 日
株式会社ペルセウスプロテオミクス
ＵＢＥ株式会社

ペルセウスプロテオミクスとＵＢＥ、抗体薬物複合体（ADC）に関する共同研究契約を締結

株式会社ペルセウスプロテオミクス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：横川拓哉、以下「ペルセウスプロテオミクス」）とＵＢＥ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：泉原雅人、以下「ＵＢＥ」）は、このたび抗体薬物複合体（ADC）[*1]に関する共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

抗体医薬品の創薬を目指すペルセウスプロテオミクスと、抗体に結合させる薬剤及びリンカー[*2]に強みを持つＵＢＥは、現在 ADC である PPMX-T004 の研究開発を共同で行っております。このたび、PPMX-T004 にとどまらず、薬効及び毒性を指標として、抗体及び薬剤／リンカーの組合せを創薬標的毎に最適化する両社の ADC 技術を活用して、それぞれが保有する研究テーマや、アカデミア等の有する様々な外部の創薬シーズに対しても幅広く共同で ADC の探索研究を進めることとしました。

本契約締結がペルセウスプロテオミクス及びＵＢＥの 2025 年３月期業績に与える影響は軽微ですが、中長期的に事業拡大に資するものと考えております。

*1 抗体薬物複合体（ADC）： ADC は、強い細胞障害作用を持つ薬物を抗体に結合させることで、対象となるがん細胞へ薬物を選択的に集積させ、がんを効率的に殺傷するため、高い薬効が期待されています。
*2 リンカー： 抗体と薬物とを結合させる、ADC の構成要素の一つです。抗体への薬物の付加数や位置を制御するほか、いつ、どのように薬物を放出するかも制御します。

■ 株式会社ペルセウスプロテオミクスについて
2001 年 2 月に創業した、抗体医薬品の創薬を目指す東大発のバイオベンチャーです。多様性の高いライブラリとスクリーニング技術を用いたファージディスプレイ法や、伝統的なハイブリドーマ法、シングルセルクローニング技術を活用し、がん領域を中心とした抗体医薬品の開発を行っています。現在のパイプラインは PPMX-T002、PPMX-T003、PPMX-T004 の３つ。
https://www.ppmx.com/

■ ＵＢＥ株式会社について
ＵＢＥの医薬事業は、スペシャリティ化学を志向するＵＢＥグループにおいて、ライフサイエンス分野の中核事業となるべく、創薬研究事業においては従来の低分子医薬品の他、ＡＤＣ（抗体薬物複合体）などの高付加価値創薬に挑戦しております。また、CDMO 事業では既存の低分子医薬品分野を拡充すると共に、核酸医薬品等の新規モダリティの製造技術獲得などを通じて、人々の生命・健康を守る手段を提供してまいります。
https://www.ube.com

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ペルセウスプロテオミクス　管理部
TEL: 03-6264-8224　E-mail：ir@ppmx.com

ＵＢＥ株式会社コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL: 03-5419-6110　E-mail：contact_pr@ube.com

以　上